




9歳以上の子ども および青少年の固有の ニーズを満たすおすすめ コンテンツを作成

YouTube は、若者文化の場であるとともに学びの場でもあります。若い世代のユーザーは、新しいアニメシリーズ、代数の宿題の解き方、好きなアーティストの楽曲など、それぞれの関心を反映した情報やコミュニティを見つけるために YouTube を訪れます。また、青少年の特徴として、新しいアイデアを見つけたい、自分自身を表現したいといった欲求もあります。こういった理由から、YouTube は若い世代の安全、プライバシー、幸福度を第一に考えつつ、彼らがそれぞれの関心事を探求できるプラットフォームやツールを提供したいと考えています。

この責任を果たすため、YouTube はプラットフォーム自体と、プラットフォームをすべてのユーザーにとって安全なものにするためのポリシーを継続的に改善しています。YouTube は設立当初から、[コミュニティ ガイドライン](#)によりプラットフォームで認められる行為を伝え、[違反措置](#)により認められないコンテンツを取り除いてきました。また、著作権審査プロセス、おすすめシステム、およびサービスやポリシーに関する世界中でのパートナーシップを通じて、ユーザーの保護をさらに強化しています。

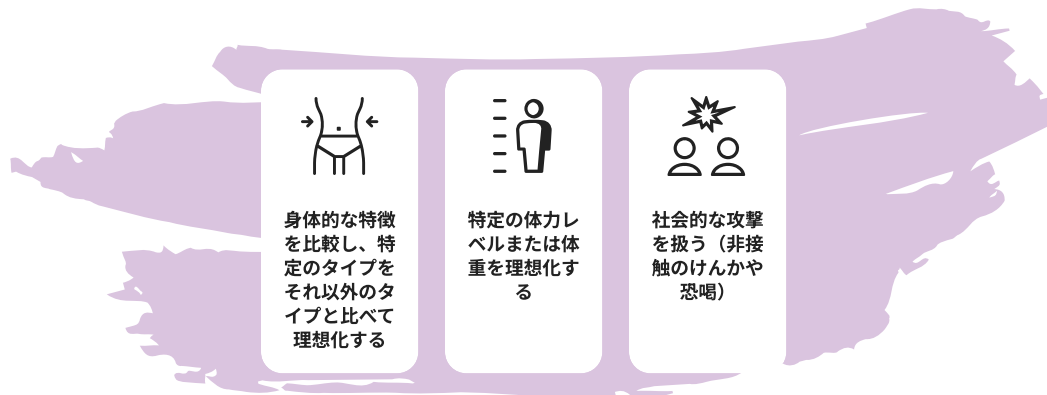


YouTube の若い世代のユーザーには、発達過程に応じた固有のニーズがあり、より一層の配慮が必要です。YouTube は、責任を持って若い世代をサポートする方法をより深く理解するために、2018 年に[青少年と家族に関するアドバイザリー ボード](#)を招集しました。これは、子ども向けメディア、子どもの発達、デジタル ラーニング、デジタル シチズンシップにおける外部の専門家から構成されるチームで、メンバーは学術分野、非営利団体、臨床分野などの経歴を持っています。YouTube はこのチームから、十分に確立された研究結果や、各メンバーの専門知識に基づき、若い世代のニーズの変化について助言を受けています。また、アドバイザリー ボードの意見は、YouTube が若い世代や家族を対象に提供するプロダクト、ポリシー、サービスにも反映されています。

青少年のユーザーの体験、特にアイデンティティ意識の確立について YouTube に助言することは、アドバイザリー ボードの重要な役割の一つです。Yalda T. Uhls 氏は Center for Scholars & Storytellers 創設ディレクターであり、YouTube の青少年と家族に関するアドバイザリー ボードのメンバーです。Uhls 氏は次のように説明します。「青少年が視聴したいものを自分で選ぶのは健全なことです。彼らはそれぞれの関心を探求し、世界を異なる視点から見ています。こうして彼らは自主的に行動し、自分自身やそのコミュニティに変化を生み出す能力を身につけていきます。」

しかし、青少年は大人と比べ、コンテンツの中で理想化された基準に関するメッセージを繰り返し見た場合、自分自身に対してマイナスの考えが生まれやすい年代です。ここに、指針を適用する余地が生じます。青少年と家族に関するアドバイザリー ボードのメンバーであり、臨床医 / 研究者でもある Allison Briscoe-Smith 氏は次のように説明します。「不健全な基準や行為を理想化するコンテンツの頻度が高くなると、潜在的に問題のあるメッセージが強調される可能性があり、こうしたメッセージは青少年の自分自身に対する見方に影響することがあります。指針を定めることで、自分を周りと比較する、自分をよく見せるといった青少年にとって自然な行為において、健全なパターンを維持することができます。」

こうした分析情報を参考に、YouTube は 9 歳以上の子どもおよび青少年におすすめされるコンテンツに対する新たな指針を定めながら、青少年がさまざまなトピックを探索できるようにしました。アドバイザリーボードの協力のもと、1 回の視聴なら無害でも、繰り返し視聴した場合は一部の未成年者にとって問題となる可能性がある動画のカテゴリが定義されました。これには以下のコンテンツが含まれます。



YouTube はその後、9 歳以上の子どもおよび青少年を対象に、こうしたトピックに関連する動画を繰り返しおすすめすることを制限する指針を導入しました。こうしたおすすめシステムの強化は、YouTube の既存の[コミュニティガイドライン](#)に加えて、未成年のユーザーを保護するための追加措置となります。コミュニティガイドラインでも、特定の[摂食障害に関するコンテンツ](#)（真似をすることができる行為を共有する個人的な証言など。詳しくは[ブログ投稿](#)を参照）や、身体的接触のある[けんか](#)（誰かが殴られている様子など）を未成年者が視聴することを防止しています。

若い世代のユーザーは、オンライン動画を通じて世界を探索することで、新しいことに興味や関心を持ち、多様なものの見方を学び、さまざまなことに対し自分との繋がりを見出すことができます。YouTube は信じています。今後も、若い世代やその家族に、YouTube 環境を管理する選択肢と、安全で充実した体験を提供できるよう尽力していきます。